## 実践例　県立栃木工業高等学校

教科・科目等　国語科・論理国語（3学年　34 名）

本時の目標

聞く人を意識して、論理的な発言ができる。

育てたい資質・能力等

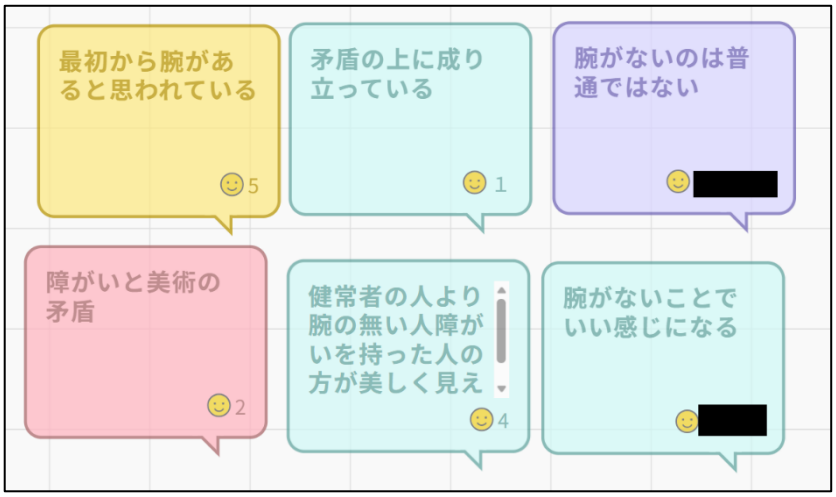
自分がもつ「思い込み」について理解し、障害者の社会生活について考えることができる。（実践力）

教材　・教科書　・ワークシート　・タブレット

展開

●授業単元である「ミロのヴィーナス」がどのようなことを前提とした話であったかをグループで話し合い、ワークシート及び「ふきだしくん」への記入を行う。
●なぜ思い込みが生まれたのかについてグループで話し合う。
●それぞれのグループが入力した内容を確認し、互いの考えを共有する。
●ワークシートに感想を記入する。

ワークシート




「ふきだしくん」（https://477.jp/）
を活用した意見の共有

生徒の感想

・ミロのヴィーナスを通して、障害をもった人への偏見や思い込みに気付くことができた。社会福祉への理解を深めていきたい。
・自分が思いもしないところで偏見をもっていたことに気付き、いろいろな事情のある人のことを思いやって生きていくことが大切だとわかった。
・社会には障害や育った環境など自分とは違う状況の人がいる中で、「人権上の偏見」について“自分にとっての普通”で物事を語るには注意がいると思った。